

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

ヒューマンチェーン・福島視察に参加して



去る4月24～26日、“日本史上最大にして最悪の公害”と言われる福島第一原発事故があった福島県の視察に、沖縄民医連より私を含む20名が参加いたしました。

現地の浜通り医療生協伊東理事長に「原発被災から3年、福島はどうなっているのか」をテーマに学習講演をして頂き、翌日は伊東理事長の案内で福島第一原子力発電所から20キロ圏内に位置する富岡町まで案内して頂きました。ここは、今年の1月から一部立ち入りが許可され除染が開始されたばかりで、地震と津波の爪痕が3年たった今もそのまま残っている場所でした。

直感として感じたのは、普段テレビから流れてくる情報は原発事故関連のほんの一部分だけだということ。多くの情報は全国に流れておらず、流れてくる情報も現地で本質的に抱えている問題などではなく、国や東電などが流している情報が主であるということ。この形は、沖縄の基地問題が全国に伝わらないのと似ていると感じました。私たちは、原発事故関連の情報をもっと集めて原発問題について議論する必要があると思いました。

①賠償問題、②除染後の放射線汚染物の中間貯蔵問題、③震災関連死の増加、④漁業や農林業の打撃、⑤子供の成長と健康についての問題など、多くの問題が存在している事を知ることが出来ました。

今回、福島視察に参加し、少しですが福島の現状を肌で感じることができました。視察に参加したからには福島原発事故についてしっかり学習し、多くの方にこの現状を伝えていきたいと思えます。

リハビリ室 屋良樹一

臨床に巣立ち、日々成長しています。

2014年度の新卒新人看護師19名は、1ヶ月間の集合教育を経て、“看護を実践する現場”である臨床に放たれました。集合教育は研修企画書を基に各院所、各部署の協力を得て行われました。認定看護師や卒後3年目の先輩看護師、そして他職種スタッフと、多くの方々に講師を担って頂きました。新人に携わる者すべてが「教える人」であり、共に「学ぶ」ことができるこのような環境に、企画者としては感動と感謝に堪えません。これも32年の歴史をもつ研修制度の賜です。この歴史ある研修制度の下で学んだ新人を代表して、嘉数瑞穂(8階病棟)、大城菜花(5階病棟)二人に近況報告をしてもらいます。

副総看護師長 金城悦子

新人看護師集合教育をうけて

4月から楽しみと不安を抱え、協同病院の看護師として就職することができました。まだ未熟な私たちに新人看護師集合教育を計画して下さい本当に助かりました。午前中ひとつひとつの技術・講義を通して学び、午後には午前中学習した事を目的を持ちながら先輩達の背中をみて技術や知識を学んでいきました。一度にたくさんの事を習得するのは大変ですが、毎日ひとつの技術を実行する学習ができたので、頭に入りやすく、とても身に付いた集合教育でした。集合教育を終えての今、習った技術を患者様に実践でき、分からない事は先輩に教えてもらいながら、患者様の看護を一生懸命行っています。まだまだ未熟ですが、先輩達を目指しながら素敵な看護師になりたいです。

8階病棟 嘉数瑞穂

新人看護師になって…

こんにちは。新人看護師として5階病棟に配属されました大城菜花です。私たちは入職してすぐに研修が始まり、平和・民医連について皆で理解を深め、午前中に研修、午後は午前の研修を病棟で実践するという新人研修を4月から約1ヶ月間受けました。看護学校を卒業し実際に看護師になり、先輩看護師からの指導を受けながら業務を行う中、日々自分の行える看護の幅が広がることで看護師になった実感が湧いています。これから看護師として常に学ぶ姿勢を忘れず、患者様との関わりを大切にしていきたいと思えます。

5階病棟 大城菜花



診療報酬改定について

94 医事課

今年の4月に診療報酬改定が行われました。そもそも診療報酬とは？

患者が保険証を持って病院や診療所などに行ったときの治療代金です。初診料や検査、手術、入院など様々な医療行為について一つ一つ決まっています。国が全国一律で定める公定価格でもあります。1点が10円の点数制で示され、例えば4月からの初診料は3月までに比べ12点上がって282点になります。要するに2820円です。

患者が実際に負担するのは現役世代ならば使った医療費の3割で、残りはその患者が加入している健康保険が支払う仕組みになっています。原則2年に1度、見直しをしております、ちょうど今年4月がその時期です。

今回の見直しは、増え続ける社会保障費をどう抑制するかが最大のポイントでした。

高齢化が進み、医療費が増え続けているので、国は医療費を抑えようと奮起しています。

具体策として、医療費がかさむ大病院での入院を減らし、できるだけ自宅などで療養してもらおう形をつくりたいと考えています。入院医療というのは非常に医療費がかかります。そこで国としては、入院日数をできるだけ短縮させて早く退院させたい。しかし、退院させたいが行き場のない患者がいては困ります。それを補う上でも「在宅医療」は非常に重要になります。

そのためには、身近な診療所や中小病院の医師が患者のかかりつけ医となり、普段から患者の健康管理をして、本当に必要なときだけ入院を指示することが必要です。このような在宅医療などに診療報酬を手厚く配分したのが今回の特徴です。

今改定から、段階を踏んで病院の役割分担が進みます。

今は、緊急に手術対応が必要な重症の患者も、慢性病などで長期療養が必要な患者も同じ病院に入院しているという面があります。これでは効率的な治療ができません。そこで緊急に高度な手術ができる病院、患者が自宅に戻るためにリハビリを重視する病院、長期に療養する病院などの役割が明確になってきます。それぞれの形態に応じた診療報酬を払い、入院期間は短くするなどの条件を設けて、できるだけ患者が自宅などに戻れるようにします。

今までの診療報酬改定は、医療費適正化のための政策という見解が強かったのですが今改定は、国が進める社会保障の方向性に医療機関を誘導する、という側面がかなり押し出されています。

医事課長 田里雅樹

★患者付添体験

こんにちは、研修医1年目の田中慧です。

患者付き添い体験は、診察を受けるために病院にきた患者さんと受付から会計までをともに過ごし、患者さんの緊張や不安を理解し、診察のシステムやスタッフの対応を客観的に見ることを目的とした研修です。この体験を通して感じたことは、病院のスタッフの皆さんがやさしく丁寧に患者さんに接しているということでした。

患者さんが多くなってくると、どうしても待ち時間が長くなってしまいます。またスタッフの心にも余裕がなくなってくるかもしれません。しかし、そういうときこそひとりひとりに誠意をもって丁寧に対応することで、患者さんとうまく信頼関係を築くことができ、スムーズな診療を行うことができると思います。今回感じたことをこれからも忘れないように、日々の研修に励みたいと思います。

1年目研修医 田中 慧

皆さん、こんにちは、研修医1年目の榎田花世です。今回、初診患者さんの付き添い体験をすることができました。初診の患者さんが初めて病院で受付をするところから、お会計をして帰られるところまで、患者さんに付いて一緒に行動させていただきました。私の患者さんは朝一番に病院に来られたのですが、当日は病院もすごく混んでいて、待合室でかなりお待たせしてしまい、診察にたどり着いたのがお昼前になってしまいました。それでも嫌な顔をせずに笑顔で待っていて下さったので、とてもありがたかったです。患者さんといろいろお話することができて、私もとても楽しかったです。初診にも関わらずこのような付き添い体験を許可してくださった患者さんに本当に感謝しています。ありがとうございました。

1年目研修医 榎田花世



虹の箱とは患者さまの声を医療活動に反映させていくための投書箱です。

投書

生保の診断書の記入項目の多さ、病院からそれを貰うのに一週間もかかるのにびっくりです。

文書作成専門職を養成したらどうですか。市内ではある耳鼻科が行っております。

あと、4階病棟の看護師さん他、皆親切でした。感謝。

回答

医師は外来、入院診療、手術や処置等の合間に文書を記入するため、作成に時間を要します。

また文書作成専門職としてドクターズクラークを配置し、医師の補助業務を行っていますが、依頼される文書の数が多いため、どうしても2週間の作成期間を頂いております。

今後、少しでも早くお渡しできるように、ドクターズクラークの人材育成、スキルアップに努めてまいります。

患者様にはご不便をおかけしますが、なにとぞ、ご理解とご協力をお願いいたします。

医事課長 田里雅樹

季節の挿絵

梅雨 アジサイとかたつむりは なかよし

画・内科医 上原和博



2014 梅雨

病院の活動状況 <4月度>

- ・ 外来一日平均患者数:629人(前年同月比+33人)
- ・ 入院一日平均患者数:262人(前年同月比±0人)
- ・ 組合員利用率:54.7%(前年比+0.1%)

さて、安倍政権は「アメリカが他国から攻撃を受ければ、日本は攻撃されてないのに他国の戦争に参加する」ための集団的自衛権の行使を画策している。再び焦土にギンネムを散布することがないよう軍靴の足音を消すのは今生きている大人達の役目である。

とよみ生協病院 事務課長 金城稲子



おきなわの自然 49

ギンネム

沖繩に住んでいけばどこでも目にする木である。それもそのはず、花ひとつから約10本のサヤができ、その中に約20個の種ができるので木一本あれば1年でギンネム屋敷と化す。ギンネムは根粒菌という栄養源を持ち、根が深いため干ばつに強く、さらに他の種子を阻害する物質を分泌しているともいわれているので必然的に群落を形成する。一度侵入されると整地にするためにはコンボに頼るしかない。小さい頃は、ギンネムの蕾を玉にして竹鉄砲を作って遊んだものである。

ギンネムは緑肥、飼料、緑化、土壌流出防止のために1910年以降、セイロンから沖繩に導入されたといわれる。その後、沖繩戦で焦土化した島の土壌流出防止用として、米軍がハワイ産の種子を空中散布したといわれる。他には死臭を消すためにテーリアン等の玉砕の島々に米軍が種を蒔いたともいわれる。

ギンネムにはミモシンという毒素が含まれていて、牛等に多く与えると毛が抜けるという。戦争末期に小笠原諸島に取り残された兵隊がギンネムの種子を食べ、全員丸ハゲになったという逸話もある。商品化されている「ギンネム茶」は発酵によって無毒化しているようだ。